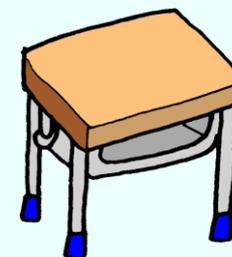




北 部 地 域



市立小・中学校の
将来のあり方について

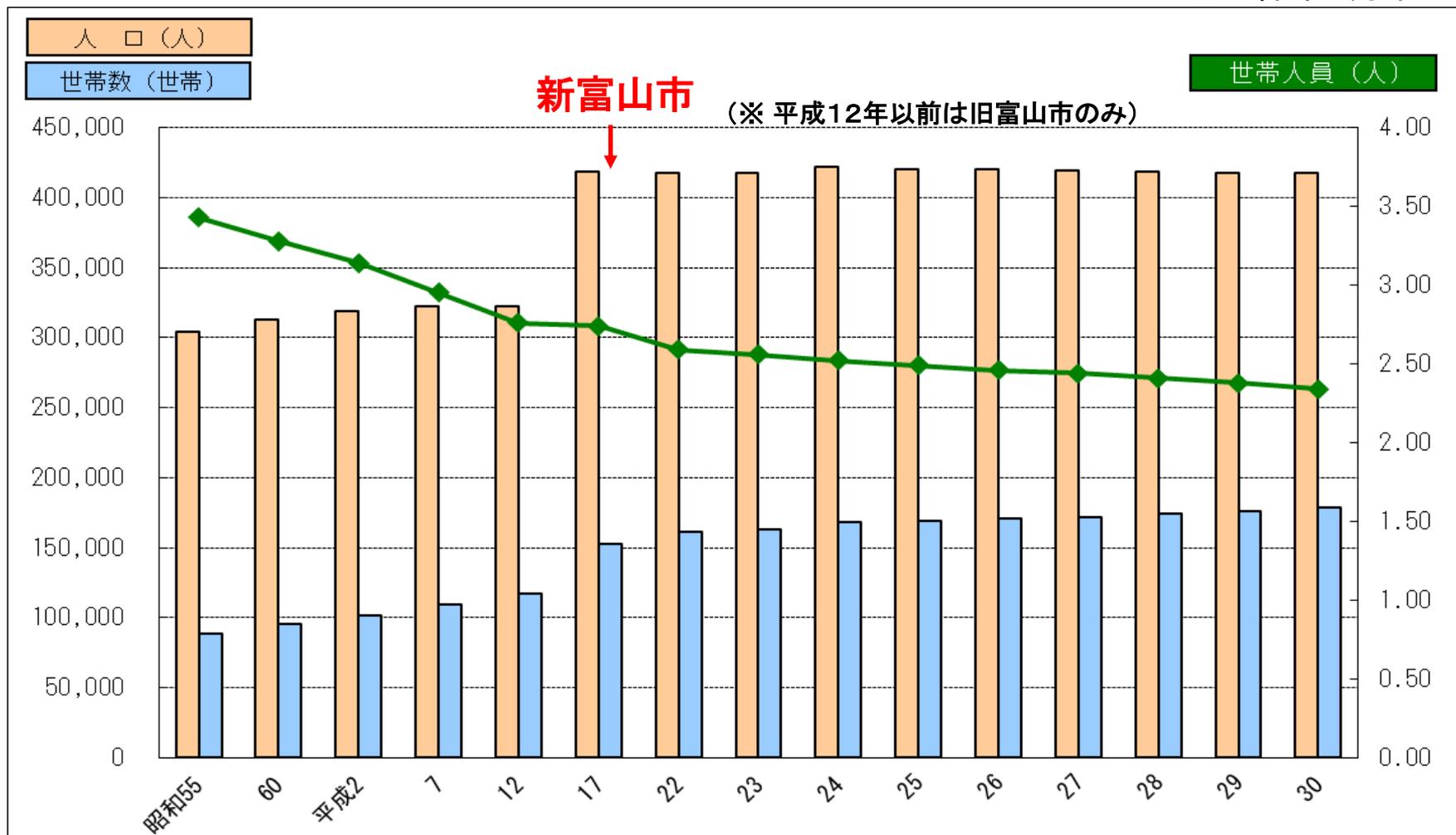


富山市教育委員会

1 富山市全体の状況

(1) 人口の推移

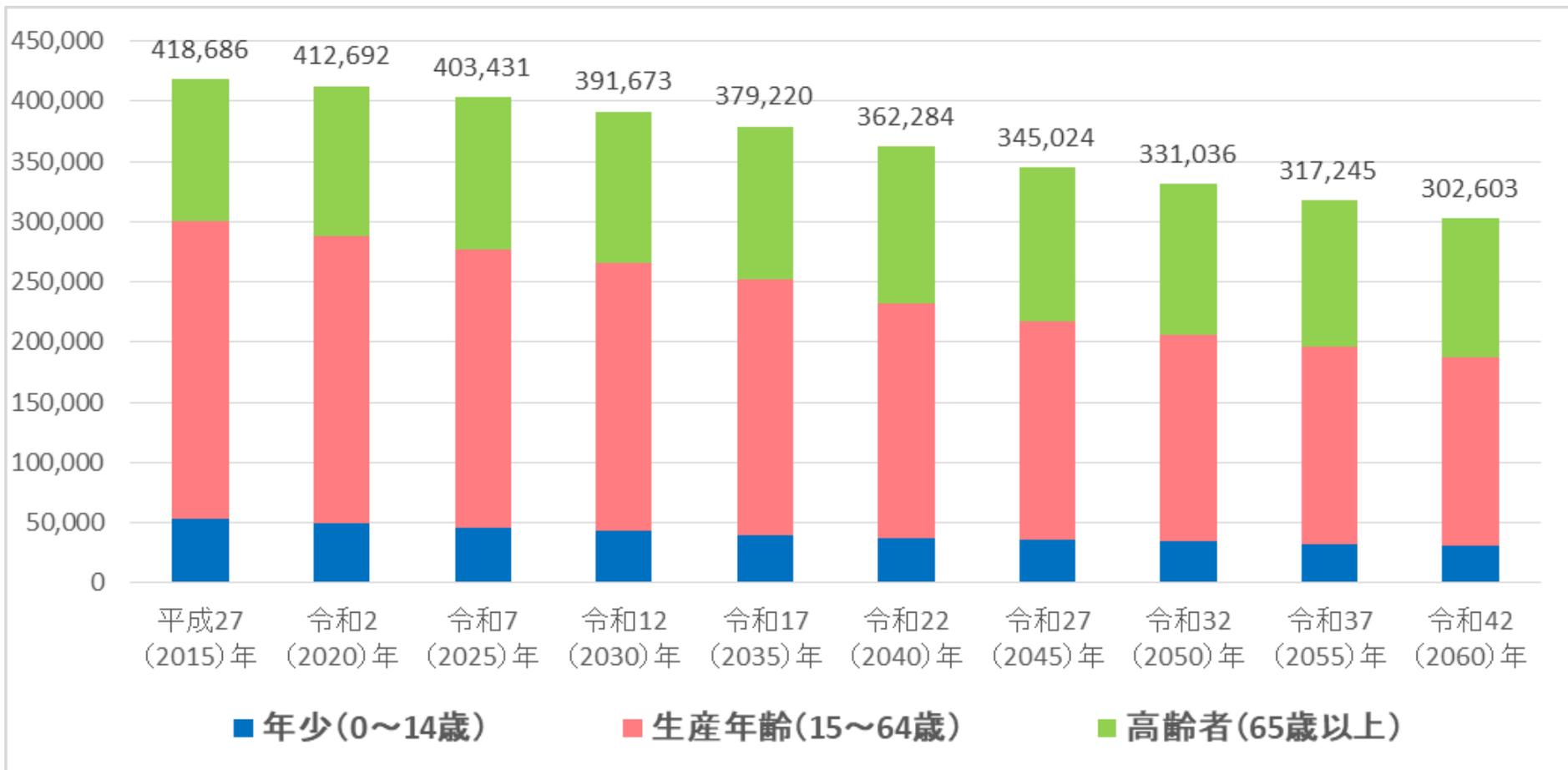
※ 各年9月末



1 富山市全体の状況

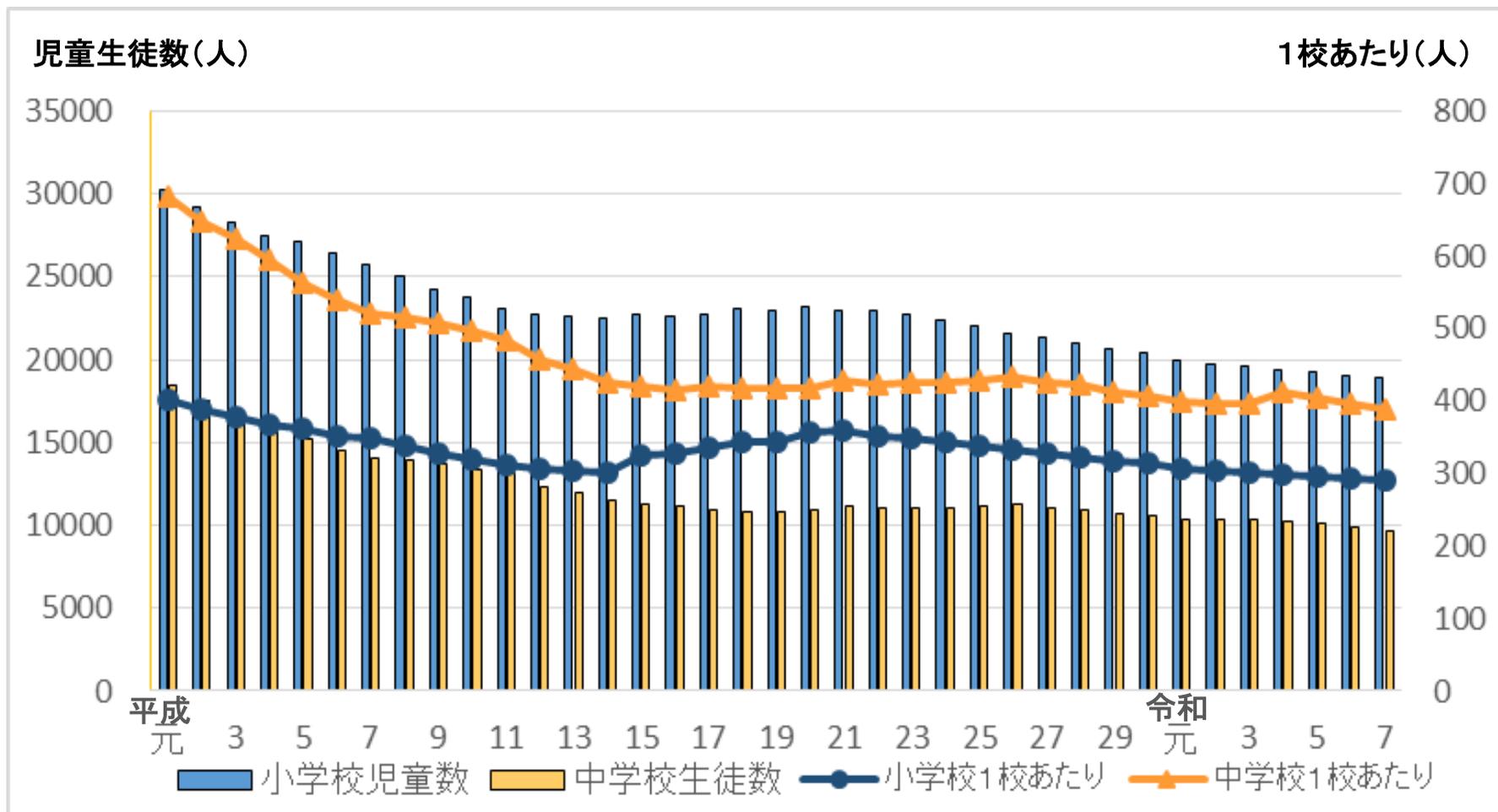
(1) 人口の推移

人口(人)



1 富山市全体の状況

(2) 市立小・中学校の児童生徒数の推移



1 富山市全体の状況

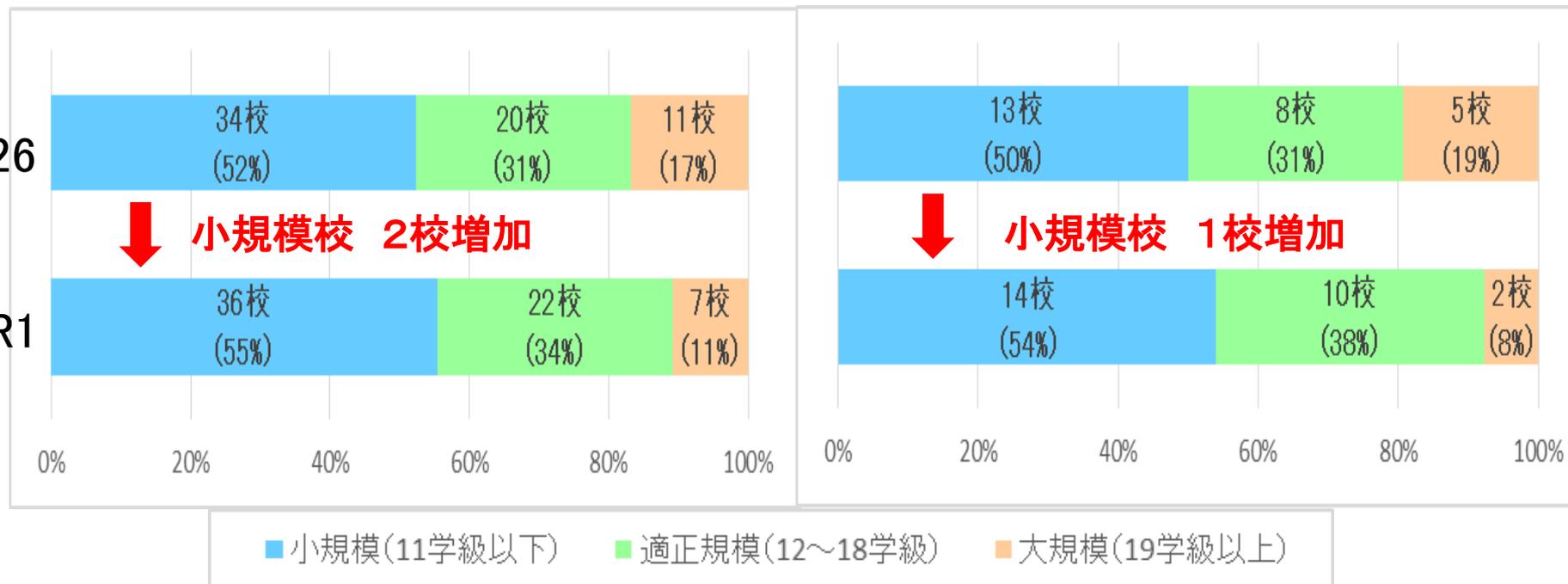
(3) 市立小・中学校の学校規模

標準（適正規模）：1校あたり12～18学級

(※学校教育法施行規則)

小学校

中学校

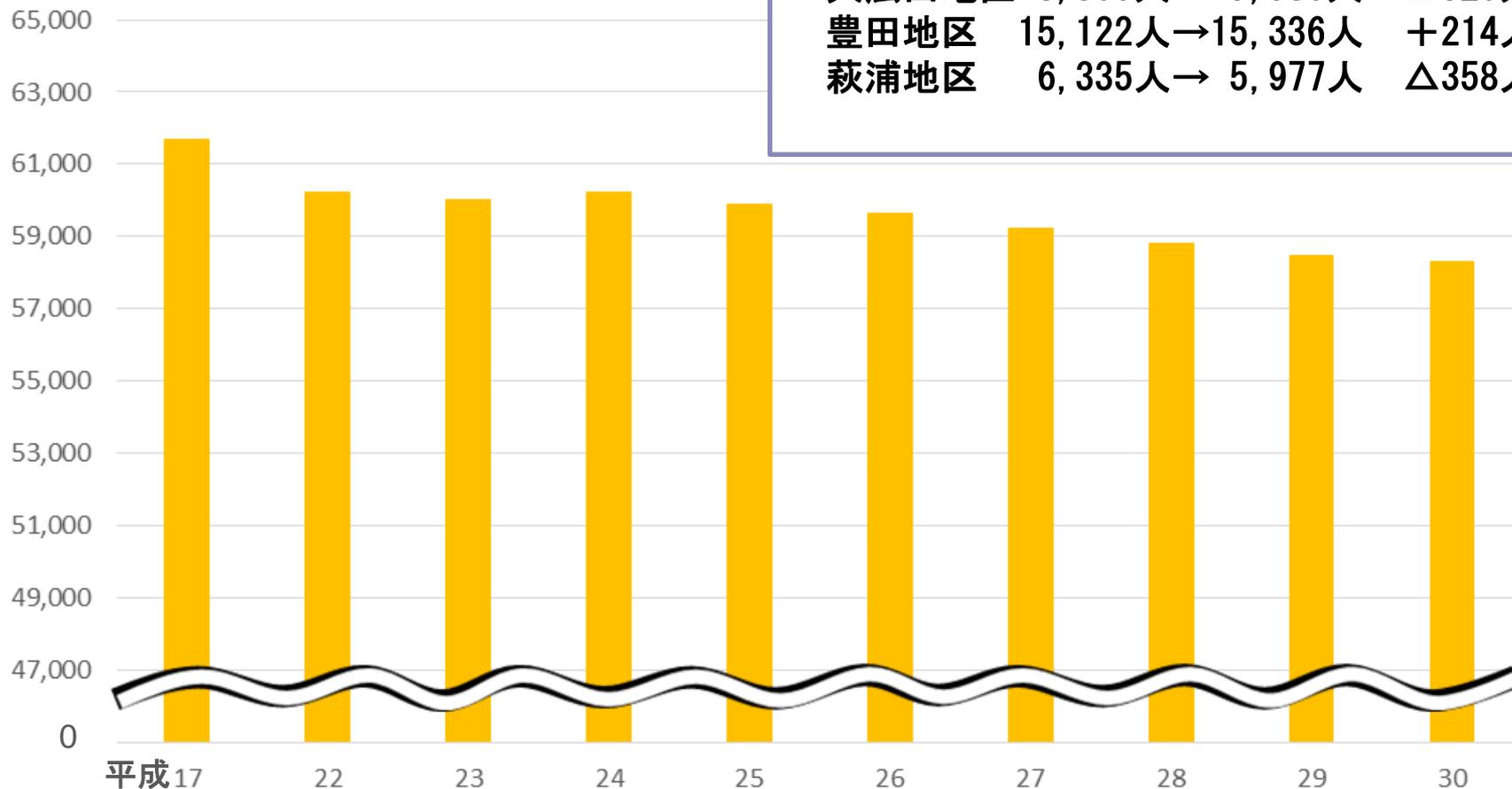


市立小・中学校の5割以上が小規模校

2 北部地域の状況

(1) 人口の推移

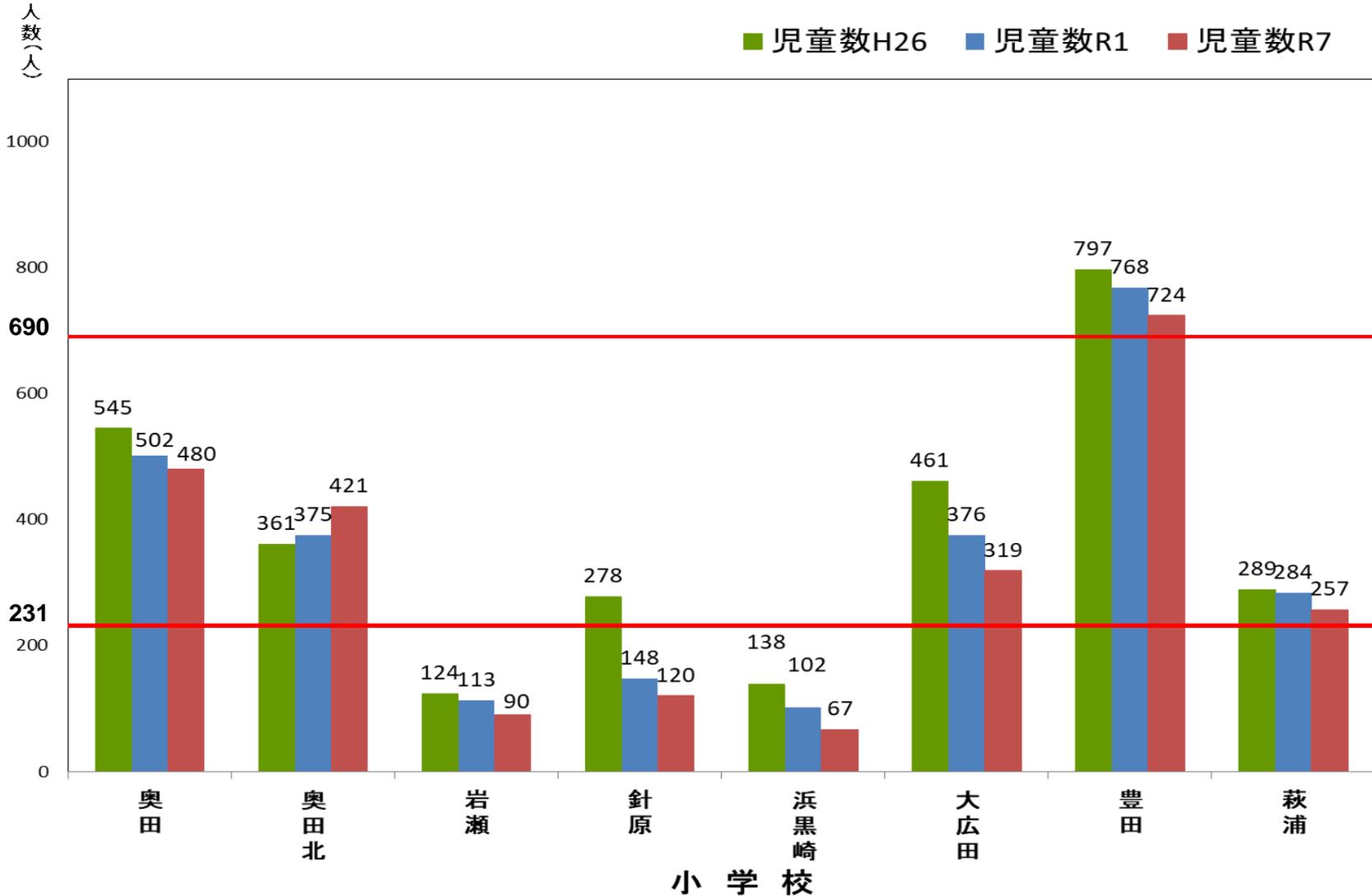
人口(人)



【内訳】	H17	H30	△
奥田地区	10,829人	10,592人	△237人
奥田北地区	8,509人	8,280人	△229人
岩瀬地区	4,276人	3,395人	△881人
針原地区	4,978人	4,195人	△783人
浜黒崎地区	3,135人	2,569人	△566人
大広田地区	8,500人	7,980人	△520人
豊田地区	15,122人	15,336人	+214人
萩浦地区	6,335人	5,977人	△358人

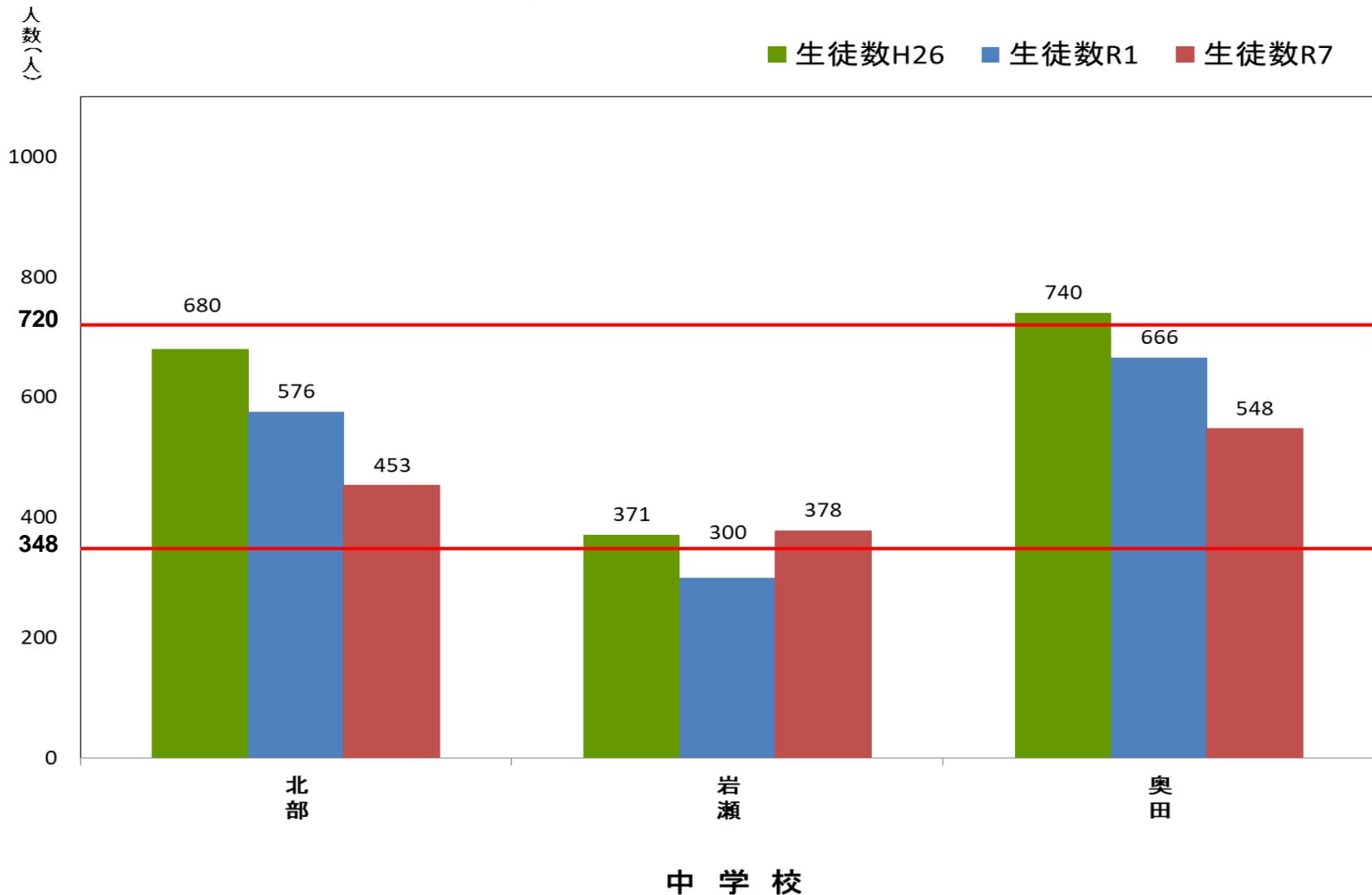
2 北部地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)



2 北部地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)



2 北部地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

児童数(人)

小学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
奥田小	H 2 6	17	95	93	79	102	82	94	545
	R 1	17	77	86	77	80	94	88	502
	R 7	15	88	73	75	86	80	78	480
奥田北小	H 2 6	12	61	61	67	55	67	50	361
	R 1	12	64	58	69	68	51	65	375
	R 7	14	71	61	89	60	67	73	421
岩瀬小	H 2 6	6	19	16	22	27	21	19	124
	R 1	6	16	18	33	10	19	17	113
	R 7	6	14	11	23	17	11	14	90
針原小	H 2 6	10	35	49	37	47	55	55	278
	R 1	6	17	21	18	31	29	32	148
	R 7	6	16	23	20	17	20	24	120
浜黒崎小	H 2 6	6	15	15	32	21	26	29	138
	R 1	6	20	13	18	16	20	15	102
	R 7	6	6	12	6	16	12	15	67
大広田小	H 2 6	14	71	64	70	78	72	106	461
	R 1	12	65	66	57	59	57	72	376
	R 7	12	48	41	60	57	58	55	319
豊田小	H 2 6	24	121	124	134	135	144	139	797
	R 1	23	131	139	120	133	128	117	768
	R 7	22	124	111	135	104	119	131	724
萩浦小	H 2 6	11	48	50	33	61	47	50	289
	R 1	12	48	42	45	44	57	48	284
	R 7	11	34	40	43	49	47	44	257

大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

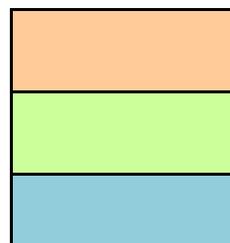
小規模 (11学級以下)

2 北部地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

生徒数(人)

中学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	合計
北部中	H 2 6	18	224	219	237	680
	R 1	16	178	178	220	576
	R 7	13	149	159	145	453
岩瀬中	H 2 6	10	120	133	118	371
	R 1	9	100	94	106	300
	R 7	11	125	118	135	378
奥田中	H 2 6	20	254	240	246	740
	R 1	18	215	224	227	666
	R 7	16	190	185	173	548



大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

小規模 (11学級以下)

2 北部地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

奥田小

H30 校舎大規模改造竣工
R1 校舎改築工事実施設計

奥田北小

H29~R3 校舎大規模改造工事

岩瀬小

H15 校舎改築竣工
H28 プール改築竣工

針原小

H6 校舎増改築竣工
H11 校舎増築竣工

2 北部地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

浜黒崎小

H26 松風分校の開校
H30 校舎改築竣工
H30~R1 校舎大規模改造工事

大広田小

H17 校舎移転改築竣工

豊田小

H20 校舎移転改築竣工

萩浦小

S53 校舎新改築竣工
H18 校舎大規模改造竣工

2 北部地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

北部中学校

S60 校舎新改築竣工

H26 松風分校の開校

岩瀬中学校

H30 校舎改築竣工

奥田中学校

H17 校舎大規模改造竣工

3 小規模校における教育

(1) 小規模校のよさ

- 一人ひとりの子どもに対して、きめ細かな指導ができる。
- 学校行事で子どもたちの活躍の場が多い。
- 他学年や地域の方と交流活動がしやすく、親交を深められる

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小・中学校共通

- クラス替えがないため、多様な考えに触れる機会や、社会性や規範意識を身につける機会が得られにくい。
- 体育のバスケットボール等の団体競技や音楽の合唱等が行いにくい。
- 経験年数、専門性、男女比など、教員をバランスよく配置できない。

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小学校

- 複式学級となる場合には、教員が複数学年分の指導準備を行うこととなり、各学年へのきめ細かい指導が行いにくい。
- 教務主任が学級担任を兼務するなど、一人の教員にかかる負担が大きくなる。

中学校

- 9教科10科目すべての教員がそろわず、一部の教員が専門以外の教科の授業を行わなくてはならない。

※ 教科担当教員の配置 1校3学級→6人

⇒ 9教科10科目の対応が難しい

- 開設できる部活動の数に制約が生じる。

4 適正規模、適正配置に向けた取り組み

(1) 小規模校

- ① 学校の統合
- ② 学校選択制の導入
- ③ 小規模特認校制
- ④ 通学区域の見直し

(2) 大規模校

- ① 学校の分離
- ② 施設の増築
- ③ 通学区域の見直し

5 学校規模に起因する デメリット緩和に向けた手段

(1) 小規模校

- ① 教員の加配置や複数校兼務
- ② 小中一貫教育、義務教育学校
- ③ ICT機器の活用

(2) 大規模校

- ① 教員の加配置

おわりに



児童生徒数の減少に伴い、学校の統廃合は将来的に避けて通れない大きな課題です。

学校の標準規模化を図るなど、次代を担う子どもたちにとって、地域・保護者・教育委員会が一体となって、よりよい教育環境となるよう考えていく必要があります。

